NEWS23 週刊報告　　ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)
対象期間：8/26～8/30

・8/26(月)
　日米首脳会談と日韓関係、G7、香港デモなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、日米首脳会談と日韓関係については放送法第四条の観点から不十分な点が見られました。

・8/27(火)
　年金の財政検証、上野政務官に口利き疑惑、ムン大統領側近にスキャンダル、韓国の竹島での訓練などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、年金の財政検証については放送法第四条の観点から不十分な点が見られました。また、年金の財政検証については検証者の所感を記しました。

・8/28(水)
　韓国に対する「ホワイト国」除外、口利き疑惑の上野厚労政務官辞任などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地からは問題は特に見られませんでした。また、口利き疑惑の上野厚労政務官辞任については検証者の所感を記しました。

・8/29(木)
　文大統領の最側近に汚職疑惑、上野議員口利き問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、文大統領の最側近に汚職疑惑については放送法に反する要素が見られました。

・8/30(金)
　香港民主化団体メンバーらを逮捕、日韓文化交流、来年度国家予算の概算要求が公開、在沖米軍ヘリの窓が落下、羽田新ルートの飛行テスト開始などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地からは特に問題は見られませんでした。また、羽田新ルートの飛行テスト開始については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019 年 8 月 26 日

出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕
高橋尚子

検証テーマ：日米首脳会談と日韓関係、G7、香港デモ

報道トピック一覧

・日米首脳会談と日韓関係
・G7
・富士山で落石しロシア人女性が死亡
・アマゾンで続く山火事
・警察病院から逃走した男の新たな足取り
・香港デモ
・東京多摩動物公園で際に襲われた飼育員が死亡
・銀座の陶芸教室で一酸化炭素中毒
・茨城県で高齢夫婦死傷事件の凶器をめぐる新情報
・「リクナビ」運営会社社長が謝罪会見
・中国のショッピングモールで天井崩落
・スポーツ報道
・【異論反論】#読書感想文と電子書籍
・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・日米首脳会談と日韓関係：結論→不十分

　スタジオで小川キャスターの「まずフランスで行われていた G7 サミットですがまもなく閉幕します。1975 年の第一回サミット以来ずっと出されてきた首脳宣言は今回初めて採択されませんでした。一方ですね、サミットに出席した安倍総理大臣はアメリカのトランプ大統領と会談しました。何が議論され、何が議論されなかったのでしょうか。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「24 日から 3 日間の日程で行われた G7.期間中日米首脳会談が行われ、大きな進展が見られました。アメリカ側の提案で当初予定されていなかった共同記者会見が急遽行われることに。」

"トランプ大統領「我々は原則的な合意に至った。数十億のもので農家にとってはとてつもない額だ。」

安倍総理「両国にとってウィンウィンな形で進んでいることを嬉しく思いますし、両国の経済にとって間違いなく大きなプラスになると思います。」"

ナレ「今年 4 月から始まった貿易交渉が大枠で合意したのです、。これまでアメリカは日本に牛肉などの農産品の関税の引き下げを求めてきました、一方日本はアメリカに対して自動車や工業製品の関税撤廃を求めてきました。結果、日本は農産品の関税を TPP の水準まで引き下げ、アメリア k は工業製品に関しては幅広い品目で関税を撤廃することで合意したのです。では自動車については。」

"トランプ大統領「日本に関して自動車の関税はそのままだ。そのままだ。」

ナレ「自動車の関税撤廃については見送りとなりました。今後、9 月末の最終合意に向けて詰めの作業が始まりますが、菅官房長官にはこんな質問が。」
記者「日本側が米国側に押し切られたとの見方もありますけれども、日本政府の認識をお伺いします。」
菅義偉官房長官「極めて有益なことではないでしょうか、そういう中で米国側に押し切られたという指摘は全く当たらないと思います。」"
"ナレ「今回の日米首脳会談ではもう一つ、急遽決まったことがあります、それは。」
トランプ大統領「安倍首相は日本を代表して余っているとうもろこしを全て輸入することになった。これは非常に大きな取引だ。」
ナレ「アメリカが生産量世界一を誇るとうもろこし、現在米中貿易摩擦の影響でアメリカ産のとうもろこしが中国に輸出できず大量に余っているのです、それを日本が飼料用に買うことになったのです。アメリカの農家に向けて成果をアピールしたいのかトランプ大統領は安倍総理にこう促しました。」"
"トランプ大統領「余っているとうもろこしの追加購入について話したいのではないですか？日本が買ってくれることを知れば農家の人達はもっと喜ぶと思います。」
通訳「とうもろこしを買ってくださると総理が言ってくれるともっと彼らは嬉しいと思うので、少しその点について。」
安倍総理「前倒しでですね、緊急な形で購入をしなければならないというふうに民間も判断しているので協力できると思います。」"
ナレ「安倍総理は日本国内でとうもろこしに害虫が発生したことから備蓄用に 250 万トン分を購入するとしています。日米の貿易については積極的に動いたトランプ氏ですが、日本がアメリカに期待する北朝鮮や韓国の問題についてはあまり関心が内容です。」
"朝鮮中央テレビ「世界的に最強な挑戦式超大型ロケット砲を研究・華髪するという前例のない奇跡を想像した。」
ナレ「北朝鮮は悪化した日韓関係を見透かしたように韓国政府が GSOMIA の破棄を日本側に通告した翌日にミサイルを発射。日米韓三カ国の連携を揺さぶる狙いがあると見られますが。」"
"記者「北朝鮮のさらなるミサイル発射実験に懸念は？」
トランプ大統領「それについては嬉しくないが金委員長は米朝の合意に違反してはいない。」
ナレ「トランプ氏は金党委員長との合意は核実験と長距離弾道ミサイルの発射実験の中止であり短距離ミサイルについては問題視しない考えを改めて示しました。」
ナレ「そして安倍総理に」
トランプ大統領「私は短距離ミサイルは好きではない。シンゾウの領土に関わるからだ。シンゾウに北朝鮮の短距離ミサイル実験をどう感じているか聞いてみたい。」
ナレ「水を向けられた安倍総理は。：」
安倍総理「日本はですね短距離弾道ミサイルも国連の決議違反であろうと思っていますし短距離のミサイルの発射については極めていかん。」
ナレ「国連決議違反だとする安倍総理と、問題視しない姿勢のトランプ氏、立場の違いは鮮明でした。また、韓国の GSOMIA 破棄については具体的なやりとりはなかったということです。」"
ナレ「一方、韓国軍は日韓関係への影響を考慮し 6 月から延期してきた島根県の竹島周辺での訓練を昨日から開

始、実効支配している竹島の防衛を想定したとしていますが、日本の外務省は到底受け入れられず、訓練の中止を求めると強く抗議しました。」
"ナレ「こちらは今朝のムン・ジェイン大統領、ソウル市内の銀行を訪れ、ポケットマネーで新たにできたファンドへの出資手続きを行いました、その名も必勝コリアファンド、日本の輸出管理強化の措置を受けてその対抗策として国産化を急ぐ素材や部品産業に主に投資するものです。」
ムン・ジェイン大統領「(投資は) 日本への貿易報復への対抗措置としてだけでなく、我が国の製造業の競争力を高める上でも必要だ。」"
ナレ「出口の見えない日韓の対立、トランプ氏はその仲介に入る気は今の所なさそうです。」
　VTR を受けてスタジオと中継の間では以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。
"小川彩佳「ここで中継です。G７の国際メディアセンターにワシントン支局長の岩田さんがいます。岩田さん、日米の首脳会談では韓国の GSOMIA 破棄について具体的なやり取りはなかったということですけれどもトランプ大統領はこの日韓の問題はどう見ているのでしょうか。」
岩田夏弥（報告）「はい、トランプ大統領は連日 Twitter などを通じて非常に多くの発信をしていますけれども、この韓国が GSOMIA を破棄すると発表した件については一度も反応していません。そして今回の日米首脳会談でも一切話題に上らなかったわけですが日米外交筋はトランプ大統領の関心は通商にあったということだろう、と話しています。アメリカ政府は日本と韓国の対立についてどちらか一方の味方になるようなことは避けようとして介入してこなかったことですが GSOMIA の破棄については国務省も国防総省も韓国を明確に批判しました。ただトランプ氏自身の関心の優先順位としては日韓の問題はかなり低いところに置かれているということだと思います。」
小川彩佳「うーん、トランプ氏の関心としては相当低い、と。そしてもう一つですけれども日米貿易交渉についてなんですが。日本側が求めていた自動車の関税撤廃は見送られた、と。一方、アメリカが求めていた農産物の大幅な関税引き下げには応じるということですが、これトランプ大統領としてはかなり思惑通りということになるのでしょうか」
岩田夏弥「そうですね、トランプ大統領はですね、国内の雇用が増えること、そして株価が上がること、そして外国がアメリカの農産品を買ってくれることと、この３つを非常に喜んでおりまして、今回の日本との取引についてもまぁそういう意味では非常に大喜びをしているというふうに思います。トランプ氏は今回の G７の機会を通じまして、議長国のフランスをはじめ、８つの国の首脳と会談し、直接二国間の貿易問題などについて協議しました。元々G７のリーダーは主要国のリーダーが国際社会全体に係る課題を話し合うために集まる場だったわけですが、トランプ氏にとってはそこに行けば、一度に多くの首脳と直接話ができる、あまぁ便利な場所という位置づけになっています。なんのための G7７日という疑問は今後さらに大きくなっていきそうです。"
"小川彩佳「岩田記者の報告でした、ここで改めて G7 について星さんに紐解いていただきたいんですけれども、まず日米の貿易交渉についてアメリカにかなり押し切られたように見えるんですけれども、」
星浩「えぇまずですね、そのアメリカ、TPP から勝手に離脱しちゃったわけですけれども、今回その牛肉豚肉については TPP 並の関税引き下げにまぁ成功したわけですね、一方自動車については日本は TPP 並なら 2.5%の関税を撤廃してもらうはずなんですが、これは先送りということになった訳です。トランプさんが喜んで安倍さんはちょっと残念そうな表情というような感じですよね。さらにそのとうもろこしですよね、とうもろこしは余

ったとうもろこしを日本が大量購入ということでトランプさんは国内農家にはアピールできるということですよね。」
小川彩佳「ただ、まぁ日本側はこれを受けて日米ともウィンウィンだったと評価していますけれどもどれをもって、どの点々をもってウィンウィンということに。」
星浩「まぁその牛肉の関税なんかをその TPP 並で頑張ったということなんですが、ウィンウィンというならば、自動車の関税撤廃を勝ち取るべきだったと。」
小川彩佳「そうですね、ここで笑顔にいただきたいところでしたよね。」
星浩「まぁ今回そのアメリカに対して日本はその参院選の間の合意はちょっとまってくれと先送りを求めてアメリカが飲んだという事情もあって受け入れざるを得なかったというのが実態だと思いますね。」
小川彩佳「なるほど。一方もう一つなんですけれど韓国の GSOMI の破棄の通告を受けてアメリカが仲介に乗り出すのではないかというふうに言われていましたけれど、今回トランプ大統領の出方としては言及せずと。」
星浩「まぁ日本側はね、トランプさんがその日米韓の連携を立て直しましょうという方向で動いていくれることを期待したんですが、今回そういう動きは全くなしということなんですが、まぁもともと日米韓という枠組みが北朝鮮を抑え込むための枠組みなんですけれども、実際はそのトランプさんがね、自分の国内向けのアピールのために金正恩委員長との融和に動いたりしていましたので、トランプさんにとってみるとどうも日米韓を立て直すという意思があんまりないんだと言うことが今回の首脳会談で見えてきたということだと思いますね。」
小川彩佳「となるとこの日米韓の枠組みの先行きというのはかなり不安な状況に。」
星浩「なかなか難しいと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 711 秒だった。

スタジオでの星キャスターと小川キャスターが日米貿易交渉についてアメリカの農産品への関税を引き下げた一方で日本の自動車に対するアメリカの関税を引き下げられなかったことについて批判的に述べていた。確かに、日本の農業従事者にとっては、日本国内市場でより安いアメリカの農産物と競争することになるので、その分今より厳しい競争環境になるので「不利」とは言えるだろうが、それはあくまでも農業従事者の利害に照らしての話である。しかし、政府の真意がどうだったかは別にしても、そもそもアメリカの農産品への関税が下がるということは、それだけアメリカ産の食品を安く買うことができるということであり、それだけで一般消費者からすると十分に利益になることである。

スタジオでの論調はまるで農業重視者の回し者の議論かと疑うような一方的で偏った議論であり、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点では不十分であったと言える。

・G7：結論→特に問題なし

小川キャスターの「こちらも G7 で話し合われましたけれどもアメリカと中国の貿易摩擦が世界経済に大きな影響を与えています。」というコメントに山本キャスターの「先週末の NY 市場に続き今日の東京株式市場も全面安の展開となり日経平均株価は一時 500 円以上値下がりしました。」という応答で導入がされ、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「株価ボードは値下がりを示す緑色でほぼ占められ全面安となった今日の株式市場。」

オペレーター（岩井コスモ証券東京コールセンター）「トランプさんのツイートがあって」追加関税の話に関しては泥仕合のような形になっていますね。」
ナレ「証券会社のスタッフが漏らす泥仕合、アメリカと中国の間で繰り広げられてきた追加関税の応酬がエスカレートしているのです。中国政府は 23 日、アメリカからの輸入品 750 億ドル分、8 兆円相当に対して最大で 10%の関税を上乗せすると発表、これに対しトランプ大統領は Twitter で現在、2500 億ドル分の中国製品に対し上乗せ位している 25%の関税を 10 月 1 日から 30%に引き上げると投稿、また来月 1 日に発動を予定している第四段の制裁関税についてはも 10%から 15%に引き上げるとしています。さらに。」"
"トランプ氏のツイッター（23 日）「アメリカ企業に対し、アメリカに戻って製品を生産することを含め速やかに中国以外の選択肢を探ることを要請する。」
トランプ氏のツイッター（23 日）「アメリカは中国など必要としていない。」"
"ナレ「一方、中国政府はアメリカ側の制裁強化について断固反対すると表明した上で。」
中国商務省 HP「中国国民の決心を過小評価するな。間違った行動をすぐに辞めるように強く促す。」"
"ナレ「23 日のニューヨーク株式市場は貿易摩擦が長期化するとの懸念からダウ平均株価は一時 700 ドル以上値下がり、終値としても今年四番目の下げ幅となりました、この流れは週明けの東京株式市場にも、一時、500 円以上下落し、心理的節目となる 2 万円までおよそ 170 円に迫る場面もありました。結局終値は先週末より 449 円安い 2 万 261 円でした。また外国為替市場では今日朝には一時、1 ドル 104 円台まで円高が進行。およそ 7 ヶ月半ぶりの円高となりました、激化する米中貿易摩擦を巡っては週末行われた G7 でも。」
日本政府関係者「多くの首脳が米中の貿易摩擦を念頭に、貿易をめぐる緊張の高まりへの懸念を表明した。」
ナレ「ただ、具体的な解決策については示されませんでした。」"
　VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。
"小川彩佳「米中の貿易摩擦について、踏み込んだ解決策は示されなかったというこの G7 サミットでしたけれども、首脳宣言がない異例の閉幕ということにもなりました、どうして一致したメッセージが出せなかったのでしょうか。」
星浩「そうですね、まぁサミットというのは元々多国間の政策協調の場として設けられたんですね、ただそのトランプ大統領の登場で自国ファーストということが強くなっちゃってメルケルさんと対照的な立ち位置となったわけですね、そこにジョンソン、イギリスの首相がでてきました、まぁこれも自国第一主義。まぁイタリアの首相もこんなところ（真ん中よりやや自国第一主義より）でしょう。それからマクロンさんは多国間強調にやや理解があるんですがこの辺ですね（真ん中よりやや多国間協調より）、トルドーさんが比較的メルケルさんに理解がある、というようなことで、これだけ立ち位置が違いますと、その米中摩擦について具体的な処方箋を打ち出すというのはどう見ても無理ということですよね。」
小川彩佳「この中で安倍総理はじゃあどのあたりに位置するんですか、」
星浩「こう言うとですね、日本の政策はもちろん多国間協調なんですけれども、安倍さんとしては個人的にはトランプさんに近いわけですね、ですから本来ならばトランプさんを連れて行ってこちら（多国間協調）にきましょうとやるべきなんですけれども、」
小川彩佳「そうですよねぇ。」
星浩「安倍さんやっぱり色々北朝鮮問題などでトランプさんに色々世話になっているということもあってなかな

かそれはできなかった、ということで今回安倍さんが全体の仲介を果たすということもなかなか難しかったということで、こういうサミットの場なら本当はもう必要なのかという議論、私も長くサミット取材していますけれどもサミット不要論というのも出かねない情勢になってきましたね。」
小川彩佳「安倍総理のことを考えますとこの顔ぶれの中にはメルケルさんの次に在位期間が長いわけですよね。」
星浩「そうですね、なかなか存在感を発揮できなかったということだと思いますね。」
小川彩佳「なるほど、ここまで G7 についてお伝えしてまいりました。」"
　このトピックに当てられた時間は 382 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港デモ：結論→特に問題なし
　香港のデモについてナレーションによって「政府や警察などへの抗議活動が続く香港では、25 日も大規模な抗議デモが行われました。一部の参加者が竹のぼうなどでバリケードを作り車道を封鎖したのに対し警察は放水車を初めて現場に投入、デモ隊に放水した他、催涙弾やゴム弾を使って強制排除しました。また衝突の際 6 人の警官がデモ隊に拳銃を向けた後、一人が空へ一発威嚇射撃しました 6 月以降のデモ隊の制圧で警察が発泡したのは初めてです、この日のデモでは男女 36 人が逮捕され 38 人が病院に搬送されるなど抗議活動は激しさを増しております。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 48 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
　特になし

検証者所感
　特になし

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019 年 8 月 27 日

出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕

検証テーマ：年金の財政検証、上野政務官に口利き疑惑、ムン大統領側近にスキャンダル、韓国の竹島での訓練

報道トピック一覧

・九州北部で 50 年に一度の大雨
・警察病院から逃走した韓国籍の男
・年金の財政検証
・上野政務官に口利き疑惑
・京アニ放火事件で新たに 25 人の氏名を公表
・ムン大統領側近にスキャンダル
・南海ラピートに亀裂
・ロレックス窃盗で無職の男二人を逮捕
・オピオイドをめぐり製薬会社に巨額賠償
・痴漢防止のハンコをテスト販売
・韓国の竹島での訓練
・スポーツ報道
・【異論反論】#痴漢防止のハンコ
・天気予報

・放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・年金の財政検証：結論→特に問題なし

　小川キャスターの「続いては果たして本当にこのまま続けていけるのか、わたしたちにとって大事な年金の話です。」というコメントを受けて山本キャスターが「5 年に一度行われ、年金制度の定期検診とも言われている財政検証、その結果が今日公表されました。」と応える形で導入がなされ、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

30 代女性 A「正直もう年金を期待した将来設計っていうのはもう何年か前から難しいかなと思っているので、はい、別で一応貯蓄するような形にはしていますけれど。」

20 代男性 B「実際将来自分がもられる額が今より減っているのではないかな、出す分よりも少ないのではないかなと言うところで不安なところはあります。」"

"ナレ「街では口々に不安の声が上がっています。2004 年の大改正で 100 年安心とされた日本の公的年金制度。厚生労働省は今日、向こう 100 年間の公的年金の見通しを示す 5 年に一度の財政検証を公表しました。」

根本匠（厚労相）「経済成長と労働参加が進めば、一定の給付水準が確保されながら概ね 100 年間の給付と負担が均衡し、持続可能なものとなると言えばます。」"

ナレ「100 年間安定的に持続可能とした根本大臣、しかし今回の財政検証ではそれに当てはまらないケースも示

しています。政府は現役サラリーマンの平均手取り収入に対して夫婦二人のモデル世帯の年金が 50%を下回らないことを法律で約束しています。今回の財政検証で示された最も悲観的なケースでは 2050 年に平均収入の 46.9%と 50%を割り込み最悪 36.5%まで下がる計算に、政府の約束を達成できない結果となっているのです。」

"ナレ「夕方、厚労省の担当者などを呼びヒアリングを行った野党側。」

原口一博（国民民主党衆院議員）「これが参議院選挙の前に出ていたらどうだっただろうかということをまず申し上げたい。」"

"ナレ「今回、例年より公表が遅れた財政検証、争点化を避けるため参院選後に先送りしたのでは、と追求しました、厚労省側は公表が遅れた理由について。」

厚労省の担当者「計算作業及びわかりやすい資料の作成と、まぁそういったことに時間がかかったということであります。」

ナレ「としました。」"

"ナレ「一方、自民党の小泉進次郎厚労部会長は」

小泉進次郎（自民党厚労部会長）「少しでも年金の給付水準を自分たちで上げていく、そういった事が可能となるような制度改革に汗をかいていきたい。」

ナレ「改革の余地は大いにあると強調しました。」"

　VTR を受けてスタジオでは専門家へのインタビューの映像をはさみつつ以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「厚労省が示した年金の将来ここで改めて整理してまいります山本さんお願いします。」

山本恵里伽「はい、厚生労働省がモデル世帯としたのがこちらサラリーマンの夫と専業主婦の妻という家庭です。まぁ現状国民共通の基礎年金、これが二人分ありますね、それに加えましてサラリーマンが加入して得る厚生年金、合わせて 22 万円がもらえるという現状があります。これは現役世代の手取り収入 35 万 7000 円の 61.7%にあたるという計算になるわけです。」

小川彩佳「それが今の状況、現状ですね。」

山本恵里伽「はい、現状ですね。この 22 万円と 61.7%という数字、どう変わっていくのか、厚生労働省は今回経済成長が高い場合と低い場合 6 つのシナリオで今日公表しました。最も経済成長が高い場合はそれでも 51.9%ということでまぁ現状よりは下がるわけです、ただ水準 50%は超えているという状況ですね。」"

"小川彩佳「まぁ根本大臣、今日の会見でも年金制度は持続可能としましたけれども、この上の 3 つのシナリオが（51.9%水準、51.6%水準、50.8%水準）根拠になるわけですけれども残る 3 つのシナリオありますね。」

山本恵里伽「そうなんですよ、さらに一番下のシナリオを見てみると現役世代の収入の 36.7%まで落ち込んでしまうという状況です、で、物価や賃金の水準が同じだとした場合、額見てみると、13 万 4000 円。」

小川彩佳「うーっ」

山本恵里伽「夫婦二人で、ですからね。」

小川彩佳「これ、シナリオ 1 と比べても随分開きがありますけれども、どのシナリオが一番現実味があるんでしょうかね。」

山本恵里伽「そのあたりをですね、専門家の方に伺いました。」"

西沢和彦（日本総研主席研究員）「ケース 1，2，3 はまぁ、あの、願望、というか目標ですよね、過去を見た時

にまぁ６(３７．６%水準)くらいが、まぁあり得るかな、と。」

"小川彩佳「うーん、ケース１，２，３は願望だと、６つ目が一番まぁ今後ありうるシナリオだと、いうことになりますと、本来ならばもっと悪いシナリオも想定していなければならないところですよね。」

山本恵里伽「そうですよね、そういうふうに感じるんですが、さらに深刻だとも思われているのがこういった方々です。パート従業員で働く単身者の方、国民年金にしか入っていないという場合ですね、そういった方４０年間保険料を支払った場合こちらの６万５０００円というのが現状もらえるわけですね、で今回厚労省が公表した６つのシナリオで改めて見ていきますと、真ん中あたりのシナリオ出会ってもですね、こちら注目したいのですが４万２０００円、今よりも３６%も減るということなんですよね､｡」

小川彩佳「ぐっと減ってしまいますよね。そして一番悪いシナリオで３．５万円、３万５０００円ってこれ星さん、生活が成り立たないですよね。」

星浩「そうなんですよ、実はこの問題が一番深刻な問題でして、与野党ともにこの国民年金の６万５０００円ここにはこの目減りさせるシステムが適用させない、そういう事を考えたらどうだ、ということが、そういう考えが出ているくらいで、今後相当議論になってくると思いますね。」

小川彩佳「最低保障が必要ということになりますよね。」

山本恵里伽「はい、この年金不安というのはどんどん分かっていけば行くほど、広がっていくもの、深まっていくものだと思うんですけれども、今回厚労省は処方箋のようなものも公表しているのです、その解決策というのがこちらです。７５歳まで働く。」"

"小川彩佳「７５歳まで働くということは７５歳まで年金も受け取れない、ということになりますね、受け取らない。」

山本恵里伽「そうですね、そういう選択肢があるということですよね。まぁむしろ７５歳まで働きまして年金の保険料を払い続けるという側に回れば７５歳以降月々もらえる年金の額が大幅に増えるというふうに公表しているんです、そのあたりについても専門家の方に改めて伺いました。」"

中島邦夫（ニッセイ基礎研究所主任研究員）「まぁ政府の目標ですと、例えば高齢者の方がもっと働くですとか、あるいは女性の方がもっと働く、そういった世の中にしていくちゃいけないということですので、今後長く働き続けていくということを前提にしてどういった制度改正が必要かといったところが今後の議論になると思います。」

"小川彩佳「人生設計働き方をまるっと根本的に考えていかなければいけないことになると思うんですけれども、この７５歳まで働くという案、星さんどうご覧になりますか。」

星浩「まぁあの、一応選択制でとりあえずスタートすると思うんですね、やる場合でも、ただ今、男性の平均寿命が８０そこそこということを考えるとあまり現実味はないと思いますね、むしろその机上の空論に近いことで保険料を抑えるために相当その無理をしてひねり出したプランというような気がしますね。」

小川彩佳「でも、そこまで無理をしないと、という所まで来ているということになるわけですね、そもそもこの財政検証は参院選前に発表されなかったということで、装填隠しというふうにも言われていましたけれども実際のところはどうなんでしょうか、政治的な判断はあったのかどうか。」

星浩「実際はですね、経済指標を相当こう集めて作るので、そんなに難しい作業ではないんですよね、前回５年前は６月に出していたわけで、」

小川彩佳「そうですね。」
星浩「ですから、本当はね、今回、これ国民の負担と給付に直接関わる問題ですので、参議院選挙の前に議論の材料としてきちんと出してですね、それで参議院選挙で本格的な議論をしてさぁどういうふうに負担をします、どういうふうに給付を抑えますということを喧々囂々の議論をすればよかったんですけれども。」
小川彩佳「そうですよね、国民に直結していることですからね。」
星浩「なかなかそういうところまでいかなかった。今からでも時間がありますので、遅くないので、年金の問題、先程の基礎年金の問題含めてね本格的な議論を臨時国会以降、続けてもらいたいと思いますね。」
小川彩佳「なんのための年金なのか根っこのところからの議論が必要になってきますよね。」"

また番組のクロージングでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「今日はようやく財政検証が公表されましたね。」
星浩「そうですね、私ちょっと気になったのはね、モデル世帯がその男性は 20 歳から 40 年間働いています、女性はずーっと専業主婦やってますっていうのをモデル世帯にしてるっていうのが果たしてこれだけ多様化した時代にいいのかどうか、というのそのへんをもうちょっとこれから再検討してもらいたいと思いますね。」
小川彩佳「モデル設定がどうだったのかということですね。」"

このトピックに当てられた時間は 601 秒だった。VTR では 30 代女性の「正直もう年金を期待した将来設計っていうのはもう何年か前から難しいかなと思っているので、はい、別で一応貯蓄するような形にはしていますけれど。」や 20 代男性の「実際将来自分がもられる額が今より減っているのではないかな、出す分よりも少ないのではないかなと言うところで不安なところはあります。」という年金をアテにしていないという声が取り上げられており、またクロージングでは星キャスターが多様化する中で今の年金のモデルが妥当なのかという疑問を呈していたが、肝心のトピックの中でのスタジオでの議論では、公的年金制度を持続させるという前提での議論に終止していた。

どういったものをモデル世帯と設定するにせよ何らかのライフスタイルをモデルとしてそのモデルに合致する人も合致しない人、また制度を信用する人も信用しない人も強制的に加入させるのが公的年金制度という仕組みであるが、年金には期待していないと断言する声が取り上げられていて、ライフスタイルが多様化していると明言されている以上、公的年金制度を辞めるという方向での議論がスタジオでは全く考慮されないというのは極めて偏った論調であり放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点でも不十分なものであった。

また、公的年金制度には大きく分けると積立方式と賦課方式という二種類の運用があるが、そうした点についても触れられておらず、この点でも同四号の観点から不十分であった。

・上野政務官に口利き疑惑：結論→特に問題なし

小川キャスターの「では続いてのニュースに参ります、こちらをご覧ください、厚生労働省の政務官を務める自民党の上野宏史衆議院議員なんですが、この上野議員に今、外国人労働者の受け入れをめぐる口利き疑惑が浮上しています。一件あたり 2 万円という具体的な金額も飛び出しています。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「今年 6 月、衆議院の議員会館、上野宏史厚生労働政務官と元秘書とのやり取りとされる音声があります。」
上野政務官（音声）「これうちが”人材派遣会社”（テロップでの表示でここは音声がない）お金もらう案件でやってるんだから、それだって指示したでしょ。」
ナレ「人材派遣会社からお金をもらう案件、浮上したのは外国人労働者をめぐる口利き疑惑です。外国人労働者が日本で働くためには法務省から在留資格を得る必要があります、資格を申請するのは人材派遣会社。音声では上野政務官が法務省に問い合わせなどをする見返りに人材派遣会社から金銭を受け取ることを話し合っています。」
上野政務官（音声）「これ通常 4,5 ヶ月かかるやつを一ヶ月かからず出しましたって言っていいわけですよね。」
元秘書（音声）「まぁ相当早く。」
上野政務官（音声）「っていうか法務省からも伝わらないようにしてください。うちから伝えなきゃいけないじゃない、うちが間に入っても放っておいてもでたんだったら意味がない。」
ナレ「在留資格が認められたのは上野政務官が口利きをしたおかげ、そう思わせたい思惑がにじみます、口利き料は一件あたり 2 万円と見られます。」"
上野政務官（音声）「実績をうちが作ってあげて、で、その分そのうちから交渉をして 100 人だから 200 万で。」
"ナレ「政治家が役所への口利きの見返りに金品を受け取る行為はあっせん利得処罰法で禁じられています。やり取りの中で秘書がこの点を指摘すると。」
元秘書（音声）「これ斡旋利得になっちゃうんですよね、代議士、」
上野政務官（音声）「違うよ。」"
ナレ「上野政務官は 2010 年に参議院議員に初当選、その後衆議院に鞍替えし、去年 10 月の内閣改造で厚生労働政務官に就任しました。政務官は大臣、副大臣に次ぐ重要ポストです。」
上野政務官（国会答弁）「今回の新たな受け入れ制度によって日本に来る外国人。」
"ナレ「また、上野政務官は現在、外国人労働者の受け入れ拡大に向けた検討チームのトップも務めているのです。わたしたちは今日、上野政務官に取材を試みましたが。」
村瀬健介（報告）「えぇ、自民党の厚生労働部会、これから始まりますけれども上の政務官、姿を見えせておりません。」
ナレ「今回の疑惑について人材派遣会社は口利きの以来、金銭のやり取りはない、と否定。また上野氏側には質問状を送りましたがこれまでに回答はありません。」"
"村瀬健介（報告）「えぇ、法務省の担当者らを呼びまして、今、野党議員の合同ヒアリングが始まりました。」
ナレ「野党は疑惑を追求する構えです。」
原口一博（国民民主党衆院議員）「これ、在留資格について法務省に問い合わせがあったかどうか、そこを教えて下さい。」
法務省担当者「個別の申請に関わることになりますので、ここのお問い合わせの有無についてはお答えを差し引かせさせていただきたいと思います。」
ナレ「法務省は上野政務官からの問い合わせの有無について応えませんでした。」
山井和則（立憲民主党会派衆院議員）「厚生労働省も自民党もなんの処分もなく内閣改造までこれをほったらかすということであればね、自民党全体がね、いやこれくらいいいじゃないか、みんなやってるんだからというふ

うに取られても仕方ないですよ。」"
"ナレ「外国人労働者の問題に詳しい指宿弁護士は口利きが事実だとすれば深刻な問題だと指摘します」
指宿昭一弁護士（外国人労働者の問題に詳しい）「まるでブローカーですよね、つまり外国人労働者の受け入れに際してそこから中間搾取をしてお金をもらうということをやっているわけで、まさにブローカーと同じようなこと、まぁブローカーより悪質かもしれませんけれども。」"
ナレ「上野政務官本人はいつ自ら説明するのでしょうか。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「かなり生々しい音声データもでていますけれどももしこれが真実であれば悪質な行為ですよね。」
星浩「そうですね、まずあの政務官としてこういうことをやっているとこれ収賄罪になる可能性がありますよね。それからその国会議員として口利きをしているとあっせん利得処罰法に触れる可能性があるということでいずれにしても相当悪質ということですよね、自民党の幹部に聞いてみると上野政務官自身は自分で記者会見をして説明しますと言っているんですけれども未だに説明はないということなんですね。9 月の半ばにその内閣改造があるんで、その時にやめればいいという議論もあるそうですが、政務官という公の立場の人が違法行為をしている可能性があるわけですから、これは内閣改造云々ではなくてきちんと説明をしてそれで違法行為があるということであればきちんと処罰をすると、辞任を求めるという手続きが自民党の中で必要だと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 350 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ムン大統領側近にスキャンダル：結論→特に問題なし

山本キャスターの「韓国のムン大統領の側近にスキャンダル。検察が一斉捜索に乗り出しました。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「日本と軍事機密を共有するための協定 GSOMIA を破棄することを決めた韓国ムンジェイン政権、今、身内のスキャンダルでピンチです。ムン大統領の側近で次の法務大臣に内定しているチョ・グク氏、娘を大学に不正入学させた疑いなど数々の疑惑が浮上していて、韓国の検察は今日、関係先の一斉捜索に乗り出しました。」
チョ・グク氏「検察操作で全ての疑惑が明らかになることを望む。」
ナレ「ムン大統領はチョ氏を巡って任命責任を問われていて昨日発表された韓国の世論調査では不支持が 50.4%支持（46.2%）を上回りました。側近のスキャンダルに揺れるムン大統領、来月上旬にはチョ氏の法務大臣起用をめぐり韓国国会の人事聴聞会が開かれる予定です。」"

このトピックに当てられた時間は 82 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・韓国の竹島での訓練：結論→特に問題なし

韓国が竹島で訓練を行ったことについてナレーションによって「日韓関係が悪化する中アメリカの国務省は 27 日、韓国が実効支配をする島根県の竹島で防衛を想定した訓練を行ったことに対し韓国を批判する声明を発表しました。国務省は最近の日本と韓国の対立を考えれば訓練のタイミングやメッセージ、規模の拡大は問題を解決するためには生産的ではないとしていて同盟国である観光を批判する異例の内容となっています。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 34 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨 　特に問題なし
検証者所感 ・年金の財政検証 　スタジオでは小川キャスターが「なんのための年金なのか根っこのところからの議論が必要になってきますよね。」とコメントしていたが、まさしく必要な議論であるが、「なんのための年金なのか根っこのところからの議論」をする以上は、年金不要論や年金廃止論というのも出てくるだろうが、そうした議論をメディアは真摯に受け止めるのだろうか。今回の VTR でも年金を全く当てにしていない若者の声が取り上げられているのも関わらず、公的年金という制度そのものの見直しには全く切り込まず与えられたシナリオの論評に終止していた、今日の取り上げ方を見るに、そうした点は甚だ心もとなく感じた。

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019 年 8 月 28 日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：韓国に対する「ホワイト国」除外、口利き疑惑の上野厚労政務官辞任		

報道トピック一覧

・九州北部で豪雨災害

・韓国に対する「ホワイト国」除外、球児にも余波

・口利き疑惑の上野厚労政務官辞任

・アフリカ、命を救うドローン革命

・東京警察病院から逃走で逮捕の窃盗犯、大阪まで逃走か

・元タレント坂口杏里容疑者を逮捕

・保険金目的で男性殺害、3 人逮捕

・異論反論オブジェクション「切符って何？」

・スポーツ報道

・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・韓国に対する「ホワイト国」除外→結論：問題なし

小川キャスターの「韓国を輸出管理上の最優遇国、いわゆる「ホワイト国」から除外する政令が施行されました。韓国政府が反発を強めていますが、そうした中スポーツの分野にまで思わぬ影響が出ています」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「若者たちが着ていたのは無地のポロシャツでした。18 歳以下の野球のワールドカップに出場するため今日韓国入りした日本代表、去年までプリントされていた日の丸や「JAPAN」のロゴはありませんでした。」

竹中雅彦氏（日本高野連事務局長）「やはりこういった情勢ですので、日本を前面に押し出すのはやめたほうがいいんじゃないかと皆で相談しまして、できるだけ韓国の皆さんの心情に配慮して、こういうことに至った。」

ナレーター「韓国市民は？」

韓国市民 A「関係が関係なだけに気を配ってくれたので、ありがたく思うけど、そこまでする必要はあったのか」

韓国市民 B「政治的なことは政治で解決して、文化交流は文化交流でやるのが正しいと思う」

ナレーター「こうした中、一層の関係悪化を招く事態となるのでしょうか。日本政府は今日輸出管理上の最優遇国「グループ A」から韓国を除外しました。これに伴い食料や木材を除く幅広い品目で経済産業省が軍事転用の恐れがあると判断した場合、個別の許可が必要になります」

世耕弘成経済産業相「きっちりルール通りに運用していきたいと思いますし、ちゃんと手続きをしていただいて、民間利用と確認できるものについては、我々は許可をしっかり出していく」

ナレーター「これに対し、韓国政府は」

文在寅韓国大統領「自由で公正な貿易体制が揺れ、政治的な目的の貿易報復が相次いでいる中、経済は自ら守るしかありません」

ナレーター「韓国経済を活性化させる必要性を強調したものの、日本への直接的な批判は避けた文在寅大統領、一方李ナギョン首相は今回の日本政府の対応を批判、日本の不当な経済報復措置を正すため、WTO への提訴を滞りなく進める、と表明しました。」

VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「VTR にもありましたけど、高校球児たちが日の丸だったり「JAPAN」のロゴが入っていないポロシャツを着て韓国入りした、高野連は韓国の方たちに配慮したと主張しましたが、日韓の政治対立が民間レベルでこうした配慮を生んでしまう状況まで至ってしまったのは、なんだか悲しいですよね」

星キャスター「日本の航空会社の人に聞いてみると、今年の夏の日本から韓国に行く人は減っていなく、むしろ増加傾向にありまして、日韓の交流はそれほど萎んでないのですよね。ですから、こういう時にあまり過剰な反応をするのは控えた方がいいと思いますね」

小川キャスター「若い人たちの間でも友好的な意識は続いていますけども、そうした中で外務省の金杉アジア大洋州局長が明日韓国を訪れて、韓国側と話し合う予定だということです。改善に向けて進むのでしょうか」

星キャスター「実は、韓国は今回の GSOMIA の問題でもアメリカがもっと中立的な立場にいてくれると期待していたのですけど、実際は国務省も国防総省も韓国側を批判していて、その一点をもって誤算だったのですよね。韓国からすれば戦略の立て直しを迫られているところで、そういうタイミングをとらえて金杉局長が行って、いまの日韓の問題の根っこにあるのはやはり徴用工の問題ですから、徴用工の問題を再検討すべきではないかと言うのだと思います。ただ先日の日米首脳会談でもそうでしたが、トランプ大統領は日韓の仲介には関心を示さないということもあって、日韓首脳会談で一気に前進ということは当分望めないわけですね。そこで局長レベル、実務レベルでひとつづつ話し合いの雰囲気を醸成していこうということなので、ちょっと時間がかかる局面になってきたかなという気がしますね」

小川キャスター「金杉局長の訪韓がその一歩となっていくと」

このトピックに当てられた時間は 294 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・口利き疑惑の上野厚労政務官辞任→結論：問題なし

小川キャスターの「続いては昨日お伝えした口利き疑惑です」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

山本キャスター「外国人労働者の受け入れを巡る口利き疑惑が浮上した自民党の上野厚生労働政務官が辞任しました」

ナレーター「自民党の上野厚生労働政務官、人材派遣会社が外国人労働者の在留資格を申請する際に法務省に問い合わせるなど、口利きを行う見返りに、金銭を求めていた疑惑がもたれていました」

上野宏史氏（前厚労政務官）（※文書）「誤解をもたれていたこと、また体調を崩し役所に出ることがままならないことから、本日職を辞することといたしました。」

ナレーター「上野氏は今年 6 月元秘書とのやりとりとされる音声の中で」

上野氏「これはうち（人材派遣会社）からお金をもらう案件でやっているのだから、それだって指示したでしょ」

元秘書「これ、あっせん利得になっちゃいますよ代議士」

上野氏「違うよ」

ナレーター「上野氏は「法令に反する口利きをした事実はない」と疑惑を否定しています。音声には口利き料として１件２万円を受け取ると取れるやり取りも」
上野氏「これは党費に当てようと思って、（申請が）100 人だから、（1 件 2 万円で）200 万で家族党員 1000 人分に当てることになってたお金なんですけど」
ナレーター「党費に当てる予定のお金、動機が透けて見えます」
二階俊博氏（自民党幹事長）「党員募集をやれないものは、将来は選手交代もありうる」
ナレーター「自民党の二階幹事長は、所属議員に党員 1000 人を集めるノルマを課し、公認候補の差し替えも示唆しているのです。自民党の家族党員の党費は 1 人分で年間 2000 円、上野氏は 1000 人分の家族党員費 200 万円を肩代わりしようとしていたと思われます。ある自民党議員は」
自民党議員「地元の公認争いに必死だったのではないか」
ナレーター「野党側は」
長妻昭氏（立憲民主党代表代行）「辞めて済む話では無くて、事実関係を明確に国会の場で答弁していただく」
ナレーター「与野党双方から議員辞職を求める声も上がっています」
　VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。
小川キャスター「来月内閣改造がありますが、それを待たず事のタイミングで辞任となりました。」
星キャスター「内閣改造まで引きずりますとね、改造自体のイメージダウンになると総理官邸は判断したようで、上野議員本人にも辞めるべしとかなり厳しく伝えたようですね。」
小川キャスター「本人は疑惑は否定しましたが、今回は文書での発表ということで、潔白と仰るのなら堂々と自らの口でご説明いただけたらと思いますね」
星キャスター「この問題は犯罪にも絡んでくる話ですから、本人がきちんと説明する責任があると思います。それから VTR にありましたが、自民党の党員集めのノルマとも関わっていると議員が言っているようなので、これは自民党としても本人から事情を聞いて真相解明を急いでほしいと思いますね。」
　このトピックに当てられた時間は 219 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
　特になし

検証者所感
・口利き疑惑の上野厚労政務官辞任
　上野宏史前厚労政務官の人材派遣会社からの口利き問題について、VTR 上でも二階幹事長の下で行われている獲得党員数に基づく所属議員の査定に言及されていたが、
　今回の上野氏の場合、他党（みんなの党→日本維新の会→次世代の党）からの移籍組で、かつ尾身朝子氏との候補者調整により本来の地盤である群馬 1 区での出馬が認められず、縁もゆかりもない比例南関東ブロックの単独候補として議席を得ている身分につき、自民党の全衆議院議員の中でも党内基盤が極めて不安定な議員の一人であり、他の議員以上に公認権を握る二階幹事長からの評価の如何に敏感であったのではないか。

NEWS23 週刊報告　詳細版

テレビ局：　TBS	番組名：　NEWS23	放送：2019 年 8 月 29 日

出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕

検証テーマ：文大統領の最側近に汚職疑惑、上野議員口利き問題

報道トピック一覧

・九州北部記録的豪雨

・千葉保険金殺人事件

・文大統領の最側近に汚職疑惑

・児童不登校問題

・newstories

　・是枝監督がヴェネツィアへ

　・WFP が世界の飢餓について発表

　・世界初の iPS 角膜シート移植例

　・上野議員口利き問題

　・窃盗容疑者が放火

・スポーツ報道

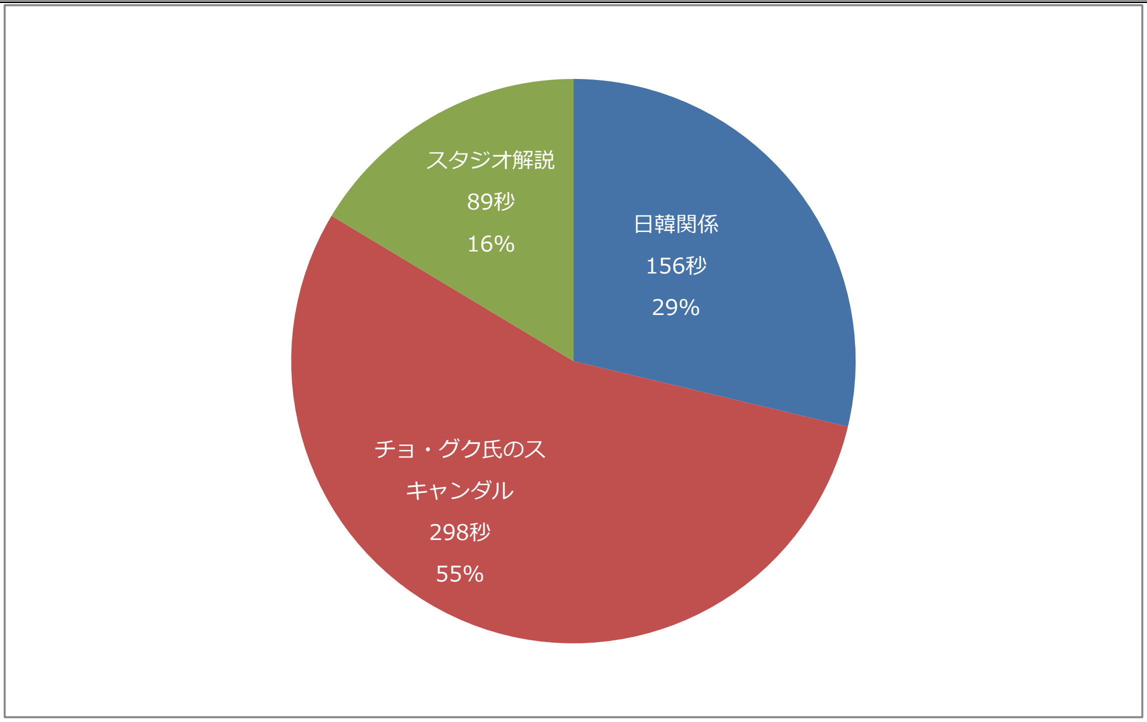
・＃異論反論 objection　「新幹線の新ルール」

・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・文大統領の最側近に汚職疑惑→結論：放送法第四条の見地から問題がある。

　今回は日韓関係とムン大統領の最側近に浮上したスキャンダルについて報じられ、さらにその二つには関連があるのではと韓国国内で話題になっていることが報じられた。今トピックに充てられた報道時間は 543 秒で、日韓関係・チョ・グク氏のスキャンダル・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「続いてのニュースに参りますが、こちらをご覧ください。韓国のムンジェイン大統領の隣で笑顔を浮かべるこちらの男性はムン大統領の最側近チョ・グク氏です。このチョ氏のスキャンダルでムン政権の足元が大きく揺らいでいます。日本とのGSOMIA破棄を決めたのはこのスキャンダルを隠すためではとの指摘も出ています。」

ナレーター「今日の臨時閣議。ムン大統領は歴史問題で激しく日本を批判しました。」

ムン大統領「過去の過ちを認めず、反省もせず歴史を歪曲する日本政府の態度が被害者をさらに傷つけている。一度反省したから、一度合意したからといって終わるものではない。」

ナレーター「一度合意したからといって終わるものではないとしたムン大統領。日韓請求権協定で徴用工問題を解決済みとする日本政府の立場を真っ向から否定する発言です。これに対し日本政府は。」

菅官房長官「一連の大法院の判決により韓国側に作り出された国際法違反の状態を解決するように引き続き強く求めていきたい。」

ナレーター「18歳以下の野球のW杯に出場するため韓国入りした日本代表。昨日は日の丸なしの服装でしたが、今日も影響は続きました。選手が練習するグラウンドには警察官の姿。日本チームにだけ特別な警備体制が敷かれたというのです。一方で、事態を打開しようという動きも出ています。外務省の金崎アジア大洋州局長は韓国ソウルを訪問。韓国側と局長級協議に臨んだのです。しかし。」

金崎局長「今この瞬間何か出口が見つかったということではございません。日韓で協議をしていく中で出口を見付ける作業をしたいと思うが、韓国側にボールがある。」

ナレーター「泥沼の日韓関係に出口は見えてきません。こうした中、ムンジェイン大統領政権の足元が大きく揺らぐ事態が起きています。ムン大統領の最側近、チョ・グク氏のスキャンダル。韓国メディアが連日大きく報じています。娘の奨学金不正受領疑惑や、妻の資産隠し疑惑、息子を兵役逃れさせた疑惑など。剥いても、剥いても、剥いても疑惑が出てくることから、ついたあだ名は「玉ねぎ男」。ついに一昨日捜査のメスが入り、関係先お

よそ30か所に家宅捜索が入りました。チョグク氏は韓国の東京大学といわれるソウル大学に16歳で飛び級入学し、今は法学部の教授を務めるスパーエリート。ムンジェイン政権が発足すると、司法機関の統括に関わる要職に抜擢されました。韓国大統領府の公式チャンネルでは。」
チョグク氏「29.8%で相当な・・・。間違えました、やり直します。アナウンサーってすごいな。」
ナレーター「ムン大統領はそんなチョ氏を次の法相に内定。次期大統領と言われるまでになっていました。ところが、その矢先。」
チョ氏「国民の厳しい叱責を受け、眠れない日々を送っています。」
ナレーター「特に若者たちの怒りを買っているのがチョ氏の娘の大学不正入学疑惑です。高校時代、大学の研究所にインターンとして入ったチョ氏の娘。研究所にいた期間はわずか2週間だったにも関わらず、作成された研究論文の筆頭著者となっていました。この偽りの経歴が評価され、名門高麗大学に無試験で不正入学をしたのではというのです。」
デモ弁者「なぜ彼らの基準と我々の基準は異なるのですか。あえて質問させていただきます。私たちはこれを座視すべきですか。」
ナレーター「さらに、チョ氏の娘には不正に奨学金を受け取っていた疑惑も浮上。今日検察はプサン市長の執務室を家宅捜索しました。側近のスキャンダルに足を引っ張られる形で支持しないとの声が50.8%に達したムン大統領。韓国国内にはムン政権が日本とのGSOMIA破棄を決めたのはチョ氏のスキャンダルがあったからではとの指摘も出ています。」
ナ。・ギョンウォン院内代表（自由韓国党）「文政権はチョ・グク氏を守るために我々の祖国を捨てました。GSOMIA破棄を決定したのです。」
ナレーター「側近のスキャンダルに苦しむムンジェイン大統領。思い出されるのが、前大統領パククネ氏失脚の経緯です。パククネ氏が弾劾に追い込まれたきっかけも親友チェ・スンシル氏の娘の不正入学疑惑でした。専門家はムン政権がGSOMIA破棄など日本に対する強硬な姿勢を引っ込めにくい状態になっていると指摘します。」
磐村和哉氏（共同通信社元ソウル特派員）「支持率の回復を日本というカードを使って図ろうとする場合は、今後日本に対してさらに強硬な姿勢に出てくる懸念もある。国民の反発を招いてしまうので、結局は破棄を決定したまま押し通すということになりかねない。」
小川「韓国のGSOMIA破棄に関してはアメリカ側が反発を強めていて、例えばこちら、エスパー国防長官は日韓双方にとても失望したと述べているんですね。さらに、国防総省のシュライバー国防次官補はアメリカの国防にも悪影響を及ぼすとしたうえで、韓国はGSOMIA更新をと韓国に訴えているわけですね。」
星「そうですね。とりわけこのシュライバーさんの発言は重い意味を持つと思います。シュライバーさんは安全保障の専門家で、私も取材したことがありますが、アメリカでは共和党だけではなく民主党からも信頼されている人物なんですね。あまり公に同盟国を批判するということは滅多にない、非常に慎重な方なので、シュライバーさんまで言うというのはアメリカ政府が相当怒っているなというのが日米の関係者の見方ですね。」
小川「アメリカから繰り返し批判を受けている中ですが、ムン大統領は今日も強気な姿勢を崩さず日本への批判的な言葉を述べていましたね。」
星「今日の発言を読んでみますと、これは外交論というよりも感情論ということになっていまして、やはり自分の側近のスキャンダルやアメリカからの批判にいら立ちがあるんだと思いますが、それがどんどん対日批判につ

ながっていくというのは非常に悪いサイクルですよね。韓国側もここで頭を冷やして、GSOMIA の問題や徴用工の問題について考え直してほしいという気がします。」

時間配分を見ると、チョ・グク氏のスキャンダルに大きく時間が割かれていることが分かる。チョ・グク氏のスキャンダルが報道の中心という性質上、スキャンダルに大きく時間が割かれるのは仕方がないことだが、報道の半分以上の時間が割かれているというのは公平とは言えない。これは放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」に違反している。

・上野議員口利き問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は、外国人労働者受け入れへの口利き問題について菅官房長官が自身で説明責任を果たすことが重要という考えを示したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 26 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今トピックは放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年8月30日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：香港民主化団体メンバーらを逮捕、日韓文化交流、来年度国家予算の概算要求が公開 在沖米軍ヘリの窓が落下、羽田新ルートの飛行テスト開始		

報道トピック一覧

・香港民主化団体メンバーらを逮捕

・日韓関係が悪化の中で、ソウルで両国の文化交流行事が開催

・千葉保険金殺人、事件前日に被告と被害者が面会

・THE YELLOW MONKEY 結成から 30 年

・来年度予算 6 年連続で過去最大、防衛費は 8 年連続増、特に宇宙分野に注力

・在沖米軍ヘリの窓が落下

・母親の遺体放置で無職男が逮捕

・高齢ドライバーによる池袋暴走事故、再発防止の署名が 28 万名を超える

・大雨で有明海に油が流出

・羽田新ルート、飛行テスト開始

・スポーツ報道

・天気予報

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・香港民主化団体メンバーらを逮捕→結論：問題なし

　小川キャスターの「香港を巡る情勢が再び緊迫しています。2 か月以上デモが続いていますが、それに絡みまして当局は民主化団体のメンバーなどを一斉に逮捕しました。「民主の女神」と呼ばれる周庭さんもその一人です」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「香港の裁判所に入ってきた警察車両、乗っていたのは「民主の女神」と呼ばれる周庭氏、そして同じ民主派団体のメンバーの黄之峰氏、二人は今朝相次いで当局に逮捕されたのです。発端は 6 月、若者たちが警察署を包囲したデモ、マイクを握る黄氏の横で周庭氏はスピーカーを持っています。二人はこの無許可のデモを扇動したなどの疑いがもたれています。5 年前、若者たちが民主的な選挙を求めた「雨傘運動」の中心メンバーだった周庭氏、香港から中国本土への容疑者引き渡しを可能にする逃亡犯条例の改正案に対するデモが本格化すると、日本を訪問し、こう訴えました」

周庭氏（香港民主派活動家）「戻ることはできないというか、香港はもう香港じゃなくなる可能性が非常に高いですね。」

ナレーター「なぜ、このタイミングで周氏らは逮捕されたのか。関連が指摘されているのは、明日の 31 日に予定されていた民主派団体による大規模なデモです。警察は一部のデモ参加者による暴力行為を防ぐためだとして、昨日デモを認めない決定を通知。周庭氏以外にもデモの関係者を相次いで逮捕したのです。起訴が決まり夕方になって保釈された周庭氏」

周庭氏（香港民主派活動家）「私と黄之峰を含め、8 月 31 日を前に多くを逮捕することで、（香港政府も中国政府も）一種の恐怖を作ろうとしているのです。」
ナレーター「中国の共産党系メディアは、香港と隣接する深圳でデモ隊を制圧する武装警察の訓練を公開しています。」
周庭氏（香港民主派活動家）「今朝、部屋のドアを開けた瞬間、警察を見た瞬間、すごくびっくりしましたけど、でもこんなに強い弾圧の前に私たち香港人は諦めません。これからも逮捕されても、起訴されても引き続き香港の民主化運動に参加していきたい」
　VTR を受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。
小川キャスター「このスタジオにも来て下さいましたが、今月伺った際には、強硬さを増す香港政府に対して、逮捕される危険に加えて命の危険すら覚えるとの恐怖を切実に語ってくださったのですよね。まあ保釈をされましたが、今後は夜間の外出禁止など行動の制限が付くとのことです。」
星キャスター「香港の民主派の運動は、若干最近構図が変わりつつあり、非常に規模が拡大して、急進的なグループと穏健なグループに分かれつつあり、中国政府と香港当局はそこに目を付けて揺さぶって分断しようとしているわけです。今回の逮捕もその一環だと思いますが」
小川キャスター「揺さぶりを強化しているその根っこには何があるのですか」
星キャスター「10 月の 1 日に中国は建国 70 年という大事な式典を控えていて、デモがどんどん拡大するのは困るし、一方武力弾圧もなかなか出来難いということで困っている段階であり、できるだけそこに向けて揺さぶりをかけて分断していこうという狙いなわけですが、国際社会はこれに対して人権や民主主義は普遍な価値ですから、香港の民主化運動に対して支援をしていくことが、日本を含めて必要だと思いますね。」
　このトピックに当てられた時間は 290 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓文化交流→結論：問題なし
　小川キャスターの「続いては連日お伝えしている日韓問題です。戦後最悪とも言われる政治対立が続いていますが、そうした中今週末日韓交流の最後の砦とも呼ばれるお祭りがソウルで開催されるのですね。どんなイベントなのでしょうか、準備が進む現場を取材しました。」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。
ナレーター「ソウルで毎年開かれていたイベント、日韓交流おまつり、日本人と韓国人がそれぞれの伝統芸能をステージで披露したり、両国の自治体がブースを出して展示したりしています。韓国人の若者がボランティアで運営を支え、1 日で 6 万人の来場者があると言われています。10 回目の節目となった 2014 年には、韓国の外相と日本の大使の姿もありました。ただ今年は日韓関係が戦後最悪ともいわれる中で」
村瀬健介（TBS 記者）「日韓関係の悪化が続く中で、ソウルのこちらの国際展示場では日韓の交流イベントが予定されています」
ナレーター「明後日に迫った日韓交流おまつり、準備は着々と進んでいますが、今年はやはり政治対立が影を落としています。」
韓国人スタッフ「イベントに参加する人、招待されている人が少なくなっています。」
ナレーター「ブースを出展する日本企業や自治体は例年より 1 割ほど減っています。また恒例となっていたフィ

ナーレのよさこいアリランについては、全出演者と観客が会場全体に入り乱れて踊るため、警備上の理由で中止になりました。それでも、なんとかイベントの開催にこぎつけた日本人の主催者は」
田中将志氏（日韓交流おまつり運営委員長）「この祭りは日韓交流の最後の砦だと。日本企業の方々にも理解をいただき協賛金をいただきましたし、韓国の若者が 500 名近くボランティアとして参加してくれますが、普通だったら不買運動とか起きている段階で「行きません」という人が増えてもいいのだが、ほとんどそういうのはなかった。これは大丈夫だなと。」
ナレーター「韓国人の演出責任者も」
キムウジョン氏（日韓交流おまつり演出監督）「（韓日が）和合するプログラムがたくさんあるので、両国の架け橋の役割を果たすでしょう」
田中氏「僕らの中には一切亀裂はないですから、これが日韓のあるべき姿だと」
ナレーター「ソウル市民は」
ソウル市民 A「こういう時こそ仲良くしなくては。両国がよく交流し協力すべきだと思います」
ソウル市民 B「（日本の）政治家には良くない印象がありますが、日本の文化や日本人のことは悪く思っていません」
ナレーター「こうした中、日韓の文化・観光交流について閣僚同士が相次いで会談しました。」
石井啓一国土交通大臣「相互交流は非常に重要である。観光交流は重要であるとの認識は共有できた。」
ナレーター「政治に翻弄されつつある文化交流もいまが正念場かもしれません」
　このトピックに当てられた時間は 240 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・来年度国家予算の概算要求が公開→結論：問題なし
　山本キャスターの「国の来年度予算の概算要求は、6 年連続で 100 兆円を超え 105 兆円程度となり過去最大となる見通しです。」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。
ナレーター「今回の概算要求で、8 年連続で過去最大となった防衛費は、事実上空母化する護衛艦「いずも」の改修費用や、その「いずも」に搭載する最新鋭ステルス戦闘機 F35B の購入費などを盛り込み、5 兆 3000 億円余りとなりました。更に不審な人工衛星を監視するなど、宇宙・サイバーなどの新たな領域での防衛能力を強化する 20 人規模の宇宙作戦隊を新設します。アメリカのトランプ大統領が宇宙開発を進める中国やロシアに対抗するため、宇宙に関する任務を統括する宇宙統合軍を新たに発足させるなど、宇宙分野における防衛力の強化は各国が鎬を削っており、日本はアメリカとの連携を深めたい考えです」
　このトピックに当てられた時間は 71 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・在沖米軍ヘリの窓が落下→結論：問題なし
　以下に朱記した VTR が取り上げられていた。
ナレーター「沖縄県にあるアメリカ軍普天間基地所属のヘリが、3 日前に沖縄本島沖で窓を落下させていたことがわかりました。日本側へ情報が伝えられたのが 1 日後であったことから、防衛省はアメリカ軍に対して再発防止策とともに迅速な情報共有を求めました」
　このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・羽田新ルートの飛行テスト開始→結論：問題なし 以下に朱記した VTR が取り上げられていた。 ナレーター「都心上空を飛行する羽田空港の新ルート、来年春の運用開始に向けて電波状況などを確認する飛行テストが始まりました。運用開始後は 1 時間におよそ 40 便が飛行する見通しです。」 このトピックに当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨 特になし
検証者所感 ・羽田新ルートの飛行テスト開始 羽田新ルートの飛行テスト開始の報道に関して、新飛行ルートに含まれる品川区および渋谷区の区民を代表する機関である区議会において可決された「容認できない」「見直しを求める」との決議は現在でも有効であり、そのような状況の下で、あたかも来春の新ルート運用開始が既定路線であるかのような報道の仕方は、一部の民意を切り捨てることになりえないだろうか。